

学習のまとめと表現

中国・四国地方の学習を振り返って整理しよう

教科書対応ページ p.201 (参照するページ p.190~199)

①【ワードチェック】中国・四国地方で学習してきた次の言葉が説明できた

ら、□に印を入れよう。

<input type="checkbox"/> <small>せとないかい</small> 瀬戸内海	かつて日本の中心であった近畿地方と九州地方を結ぶ水上交通路として、古くから重要な役割を果たしてきた。本州西部、四国、九州に囲まれた、おだやかな内海で、港町が発達した。
<input type="checkbox"/> <small>さんいん</small> 山陰地方	中国地方の日本海側の地域で、鳥取県と島根県に山口県北部を含めた地域。高度経済成長期以降、多くの人が労働力として瀬戸内海沿岸の大都市に流出し、著しい人口減少が進んだ。
<input type="checkbox"/> 南四国地方	四国の太平洋側の地域で、徳島県と高知県を合わせた地域のこと。山陰地方と同じく、瀬戸内地方への人口流出が著しい。
<input type="checkbox"/> <small>ばくだん</small> 原子爆弾	第二次世界大戦で広島市と長崎市に投下された、ウランやプルトニウムなどの元素の原子核による核分裂反応を利用した爆弾のこと。1945年8月6日に、広島市に原子爆弾が投下され、多くの犠牲者を出した。
<input type="checkbox"/> 政令指定都市	区を設置し、道府県が行う業務の一部を市で行うことができる、法令によって定められた人口50万人以上の市のこと。中国・四国地方では、広島市と岡山市。
<input type="checkbox"/> <small>ちゆうすう</small> 地方 中枢都市	各地方において、人口が多くその地方の中心的な役割を果たしている都市のこと。中国・四国地方では広島市がこれにあたる。
<input type="checkbox"/> 都市化	都市に住む人々が増え、都市の周辺の農村部に住宅・学校・商店などが進出すること。
<input type="checkbox"/> 地産地消	地域で生産したものを、その地域で消費すること。
<input type="checkbox"/> 六次産業化	地元の農水産物(第一次)を原材料にして、アイデアを凝らして加工(第二次)し、地域ブランドとして販売(第三次)する動き。
<input type="checkbox"/> <small>ちいき</small> 地域おこし	地域ブランドの開発・販売など、地域が経済活動や住民の意欲を向上させたり、人口を維持・増加させたりするために行うさまざまな活動。
<input type="checkbox"/> <small>れんらくきょう</small> 本州四国連絡橋	本州と四国を結ぶ、鉄道や道路による、児島-坂出ルート、神戸-鳴門ルート、尾道-今治ルートの、三つのルートの総称。
<input type="checkbox"/> <small>せと</small> 瀬戸大橋	自動車・鉄道の併用橋で、本州四国連絡橋の児島-坂出ルートにある、岡山県倉敷市と香川県坂出市を結ぶ10の橋の総称。
<input type="checkbox"/> 地方空港	国際線の拠点空港である成田国際空港・中部国際空港・関西国際空港・東京国際(羽田)空港などを除く、地方に整備されている空港。

掲載されている解答は、一つの例です。  
自分の解答が正しいか気になった場合は、  
先生に質問してみましょう。



まっぴんぐま